

木管楽器授業 取材レポート

学生広報委員 1年 福本彩華 高橋希美 木村綾花 藤井康平



1年生の木管楽器の授業って どんなことをするの????



フルート、クラリネット、サクソフォンの
リペア技術を学びます。

主な内容は、楽器のキィに付いている
コルクの交換や管体のトンホールを
塞ぐ役割をするタンポの交換、キィ自
体の歪みを修正するバランス調整など
の基礎技術を体系的に学んでいます。



現在行なっている 作業は何????

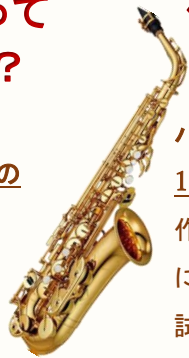
現在、1年生の授業では、クラリ
ネット修理の実習を終え、フルー
ト修理について学んでいます。

段階的に学ぶので安心です。

調整台紙と呼ばれる厚みを変える
紙を使用するタンポ交換や、キィ
のバランス調整などを行っています。



交換したタンポが均一に塞がるかど
うかを薄い紙を挟み、引いた時の
抵抗感で確認します。



オリジナル工具も 作ります!!!!

バネかけという工具を自分達で
1本の金属の棒から作ります。

作業時に楽器を傷つけない形状
にするにはどうしたら良いか等
試行錯誤しながら作っています。



バネかけ



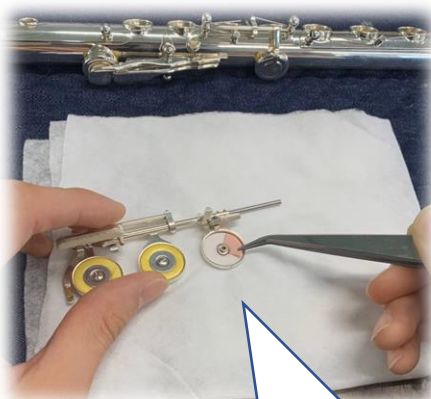
ヤスリなどで
加工して製作



バネかけの使い方は、楽器の分解
組み立てをする時に、キィに力を
かけているバネを外したり、引っ
掛けたりして使います。また、分
解をする時にバネを外すことで、
キィにかかっている力が無くなり、
少ない力でスムーズにキィを
分解することができて便利です。



バネかけを使う様子



調整台紙を使い、フルートの
タンポの交換をしています。



1人1台の作業台。ゆとりあるスペー
スで集中して取り組んでいます。



Introduction

木管楽器担当の先生方

- ① 普段の授業で意識していること
- ② 木管楽器の授業の魅力
- ③ 担当(得意)楽器
- ④ リペアに興味がある方に一言



井野 礼菜 先生

- ① 分かりやすく、楽しめる環境づくりです。
- ② 細かい作業が多い為、原因を探る力を高められます。
- ③ 打楽器(スネアドラム)
- ④ 技術は奥深く楽しいですよ。是非オープンキャンパスへ!!



鷲見 学 先生

- ① 学生が、自分達で考える環境づくりです。
- ② 自分で創意工夫しながら改善できることです。
- ③ サクソフォン
- ④ 技術の習得は大変ですが、やったらやっただけ結果につながり、達成感があります。



Q & A

先輩達に皆さんが知りたい!と思うことを質問しました!学生達の生の声です。参考になったら嬉しいです★

Q1 入学前不安だったことは?

- A. 手先が不器用で不安だった…。
だけどクラス担任制だから大丈夫!
基礎からしっかりと教えてくれるし、1人で悩むこともなく、先生がきめ細かくフォローしてくれます。
- A. 中学や高校とは違い歳の離れた人がいたり、環境についていけるか不安だった…。
でも大丈夫! 同じ目標を持ち、音楽好きな仲間達なので話しやすいし、色々な経験をしてきた方も多く、良い刺激がもらえます。

Q2 現在行なっている作業について

- A. フルートのタンポ交換は細かい作業の繰り返しで感覚と慎重さが求められ、精神的に鍛えられ、根気が身につきます。
- A. 難しい部分もあります…。ですが、できた時の達成感はなにものにも変え難く、より頑張ろうと思えます!

Q3 授業の雰囲気はどんな感じですか?

- A. 和気あいあいとしていて質問がしやすい雰囲気です。学生同士で教え合って技術を高めています。



同級生と教え合ったり、先輩から気軽にアドバイスがもらえます。



現場経験が豊富な先生方からの指導

学校法人 中部学園 (職業実践専門課程認定校)

中部楽器技術専門学校

CHUBU TECHNICAL ACADEMY OF MUSICAL INSTRUMENTS

〒466-0027 名古屋市昭和区阿由知通3-13-6

フリーダイヤル

0120-856-854

TEL:052-741-6788 学校案内無料送付中

URL:www.chubugakki.ac.jp

